



平成 30 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 アーバンライフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 許 斐 信 男
 (コード番号 8851 東証第二部)
 問合せ先 取締役 山 本 敏 之
 (TEL 078-452-0668)

特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付で公表いたしました「固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、当社賃貸事業の主力である東神戸センタービルの譲渡を実施し、その売却益を特別利益として計上する見込みとなりました。

これに伴い、平成 30 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期通期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)の業績予想および平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期通期業績予想の修正

(1) 平成 31 年 3 月期連結業績予想(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,100	百万円 540	百万円 450	百万円 450	円 銭 142.99
今回修正予想(B)	3,600	310	220	3,110	988.19
増減額(B-A)	△500	△230	△230	2,660	
増減率(%)	△12.2	△42.6	△51.1	591.1	
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	3,164	470	404	499	158.81

(2) 平成 31 年 3 月期個別業績予想(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,100	百万円 290	百万円 350	円 銭 111.21
今回修正予想(B)	1,600	60	3,010	956.42
増減額(B-A)	△500	△230	2,660	
増減率(%)	△23.8	△79.3	760.0	
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	1,700	258	397	126.19

2. 平成 31 年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正

(1) 平成 31 年3月期第2四半期累計期間連結業績予想(平成 30 年4月1日～平成 30 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,350	310	265	230	73.08
今回修正予想(B)	2,180	230	160	3,070	975.49
増減額(B-A)	△170	△80	△105	2,840	
増減率(%)	△7.2	△25.8	△39.6	1,234.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 30 年 3 月期第2四半期)	1,542	267	232	234	74.64

(2) 平成 31 年3月期第2四半期累計期間個別業績予想(平成 30 年4月1日～平成 30 年9月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,140	155	160	50.84
今回修正予想(B)	970	50	3,000	953.24
増減額(B-A)	△170	△105	2,840	
増減率(%)	△14.9	△67.7	1,775.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 30 年 3 月期第2四半期)	872	133	165	52.63

3. 業績予想修正の理由

本日付にて別途公表しております「固定資産の譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、当社賃貸事業の主力である東神戸センタービル(以下、「本物件」という。)につきまして、本物件の譲渡を実施し、その売却益により会計上の累積損失を一掃して自己資本を大幅に増強することで、財務体質の抜本的な改善による強固な財務基盤の構築を実現することといたしました。これにより本物件の売却益を特別利益として第 2 四半期累計期間において計上する一方、本物件の売却により賃貸収益が大幅に減少することから、第 2 四半期累計期間および通期の業績予想において売上高、営業利益、経常利益が減少する見込みとなりました。

なお、本物件の譲渡の詳細に関しましては、本日付にて別途公表しております「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上